

# 研究のあしあと 1

令和6年度 久美浜小学校研究推進部

令和6年5月22日

府小研の研究協力校として2年目がスタートしました。今年度は11月に中間発表も予定されており、より研究を深めていく一年となりそうです。

さて、今年度も昨年度に引き続き、京都教育大学の久保紀一郎先生に研修に入っただき、学びを深めることができることになりました。本校としては心強い体制での2年目を迎えることができ、大変嬉しく思います。また、今年度も「研究のあしあと」を記録していきたいと思ひます。第1回目は、5月8日にお世話になった久保先生のお話です。「生活科における『個別最適な学び』の具体的実践例、その取組方法」について講義していただきました。先進校の実践などから学ぶことも多かったと思ひます。ここでまとめたこととは別に、一人ひとり見返したい箇所はTeamsのファイルを見ていただければと思ひます。

## 1 我々が目指している「個別最適な学びの良さ」

【そもそも、子ども一人ひとり、学習の理解も速度も興味も違う】

- いかに、「子ども一人ひとりを主語にし、子どもが自分で学びを調整することにこだわる」ことができるか
- 教師が「教える」授業から  
学習者が「学び取る」授業へ



その結果 ↓ 変な競争意識を取り払うことができ、

不登校や発達障害の児童が目立たなくなる。  
教室に入りにくい児童・生徒が減る。など

### 個別協働学習の場面では

はじめは一斉指導で！  
→そこからだんだん手放す  
スタイルでチャレンジ！

思考ツールが同じだと比較  
しやすい良さがある  
⇒協働がしやすい  
⇒そのうちにツールの使い  
分けができるようになる

### 個別協働

#### 内容

今日は何を  
学習しますか？

ここは落とさずに  
学習しましょう

この方向性で  
頑張りましょう

#### 方法

どうやって  
誰と学びますか？

これができれば  
OKです

毎回の課題(「これ」)を通して、  
学び方のバリエーションを学ぶ

今日の内容だったら  
どうやって学習を進めようかな

授業の冒頭で

押さえることは押さえる

### 学習コーナー



### 自由進度学習では

「学習コーナー」や「端末」  
などの学習環境を整えること  
も忘れずに。

先生のチェックはきっちり！

## まとめ



○「個別最適な学び」の上に効果的な教科の学びがある。

⇒今年度の中間発表＝学習者主体の実践を見てもらう

⇒来年度の本発表＝その上に効果的な指導をのせて研究してはどうだろうか。

## 2 研修を受けて（研推部会の意見より）

○いろいろな教科を自由進度学習で進め、その上に生活科の視点をのせるというまとめから、どのようにつなげていけば生活科の研究に生かせるのか考えたい。

○中間発表までに1、2年生の生活科の授業を見るチャンスがないが、それまでにみんなで学び合わなくても良いのか。



○自由進度学習は、実際にはすでにやっていると思った。  
自由進度や個別最適を丁寧に扱うことでやってみたいな  
という思いを持った。

○ゲストティーチャーは昨年度と同じではなく、2年生に  
聞くなどして、「つながり」を大切にしてみてもいいかもと感じている。

○昨年度から聞いていて、いろいろな教科で取り入れたいと思った。スプレッドシートなどにも挑  
戦して、めあてと振り返りまでを共有してみたい。

### 今後の方向性

○どの児童も主体的に課題を持って探究できるように、様々な教科で一斉指導  
から個別最適な学びを取り入れた指導へ転換する。

○ただ主体的、ただ対話的にさせるのではなく各教科の見方・考え方に着目した  
学びへの指導を行い、どの教科でも使える汎用性があるものを目指す。（「チャ  
レンジした」だけで終わらないようにしていきたい。）

○生活科、総合的な学習の時間それぞれで自分がどんな力を付けたいかを意識  
しながらチャレンジし、実践したことを交流する。⇒交流する中で「○○す  
れば○○な力がついてきた」という話ができることを目指す。

### 1学期の日程について

第1回 校内研究授業日……6月26日(水)2時間目  
(1回目の事前研……6月12日 2回目の事前研……6月19日)

グループ研での話し合い……5月31日(金)、6月7日(金)単元のところまでは  
6月14日(金) 本時までを  
6月21日(金) 最終調整？